

わらぞうりの作り方

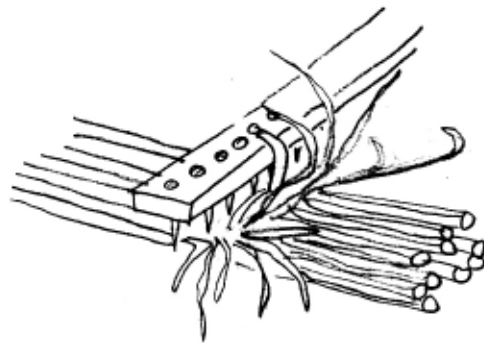
手順

- (1) わらを^す梳く・・・わらの表面の弱い皮をとりのぞきます。
- (2) わらを打つ・・・わらを水で湿らせて木づちで打つとわらがしなやかで丈夫になるのです。
- (3) なわを^な縛う・・・わらぞうりの芯^{しん}とはなおのためになわを作ります。
- (4) 編み込む・・・わらなわの芯にわらを編み込んでいきます。
- (5) はなおをつける・2／3くらい編み込んだらはおをつけます。
- (6) 仕上げ・・・余分なわらなどをハサミで切ってきれいにします。

1. わらを^す梳く

片手でにぎったわらが
片足分のわらぞうりになります。

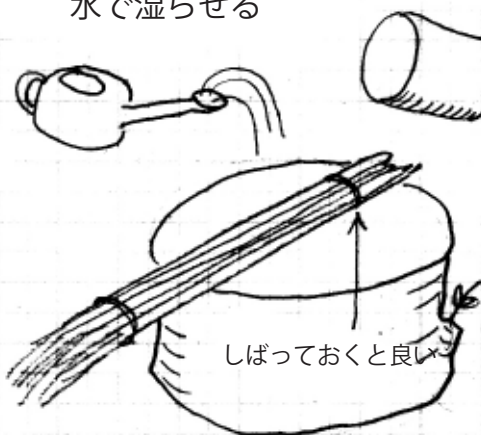
くぎを打ちつけた棒でわらの表面の
弱い皮を取ります。



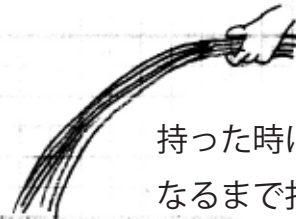
2. わらを打つ

水で湿らせる

木の台などでわらを打ちます。



バットなどを使って
わらをひっくり返しながらよく打ちます。



持った時にこのようにしなやかになるまで打ちます。

特に根元はよく打っておきます。

3. なわを^な縛う

わらを4本にとって端を足の親指にまきつけます。

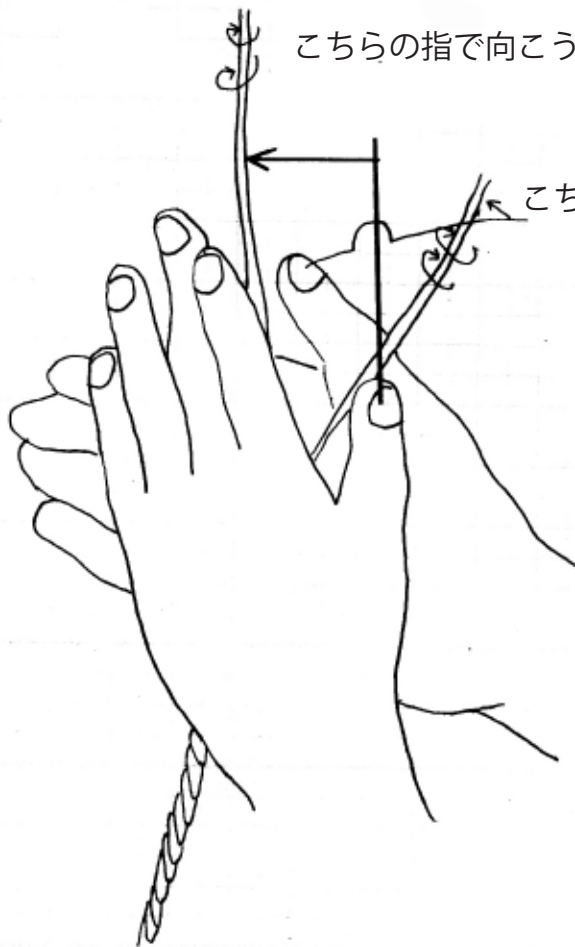
A → B → C を繰り返します。

A わらを2本ずつ手の親指の間にはさみます。

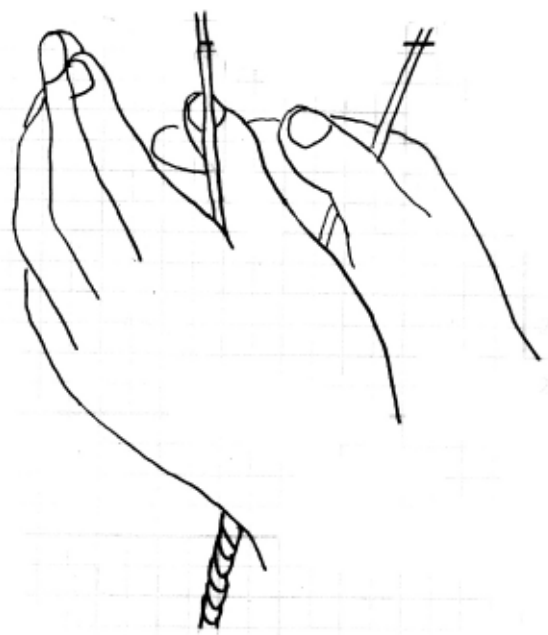


B 手のひらの中でわらをころがしながら

こちらの指で向こう側のわらを取ります。



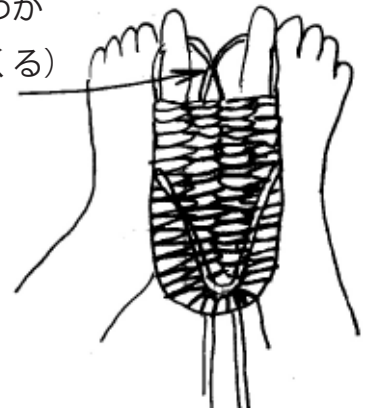
C 親指にはさんだら、ゆるませないように
ひっぱりながら手を開きます。



4. 編み込む

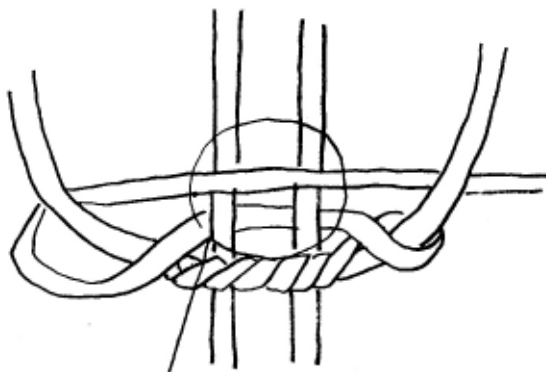
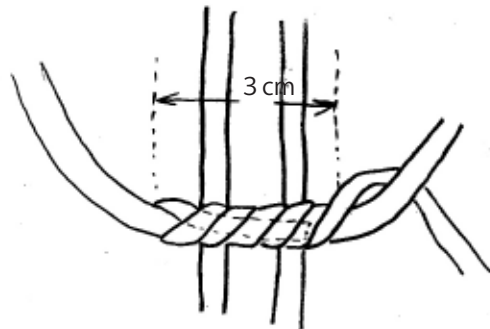


☆ 編み込み終了まで、なわが
交差する（バッテンをつくる）
ようにしておきます。

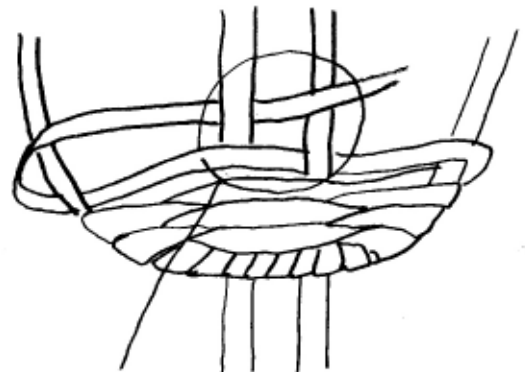


芯になるわらを図のように足にかけます。

わらを2～3本にとって3cm ぐらいまきつけます。



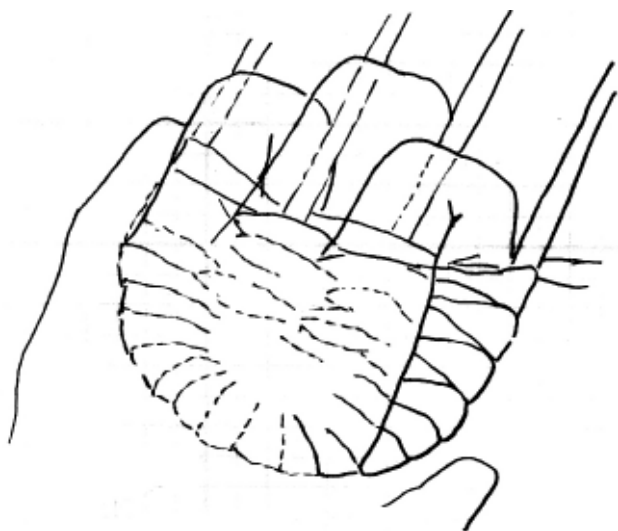
2本まとめて上と下を互い違いに通します。



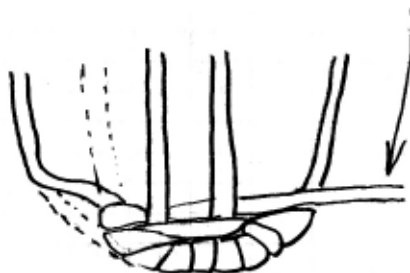
4～5回目からは4本の芯を互い違いに通します。

あみこみで大切なこと

1. いつも、わらを手前にしっかりと寄せあつめるようにします。

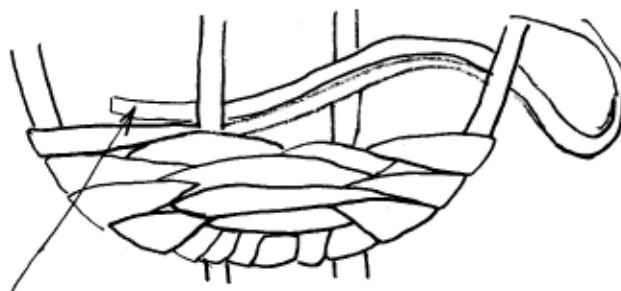


2. わらは横にひっぱってはいけません。



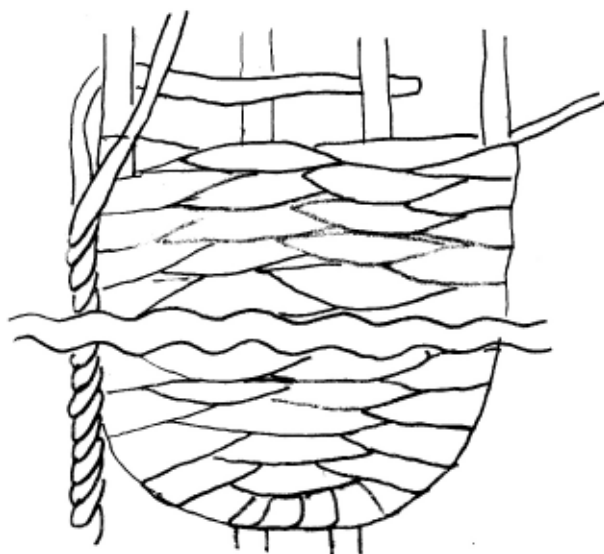
わらの足し方

わらを足す時は、細くなりかけたわらに新しいわらをそえて編み続けます。



端は下に伸ばしたままにしておきます。

☆ 正しい順序で編み込んでいれば、足した時のわらの端は、ぞうりのうら側の方へ全部出ているはずです。



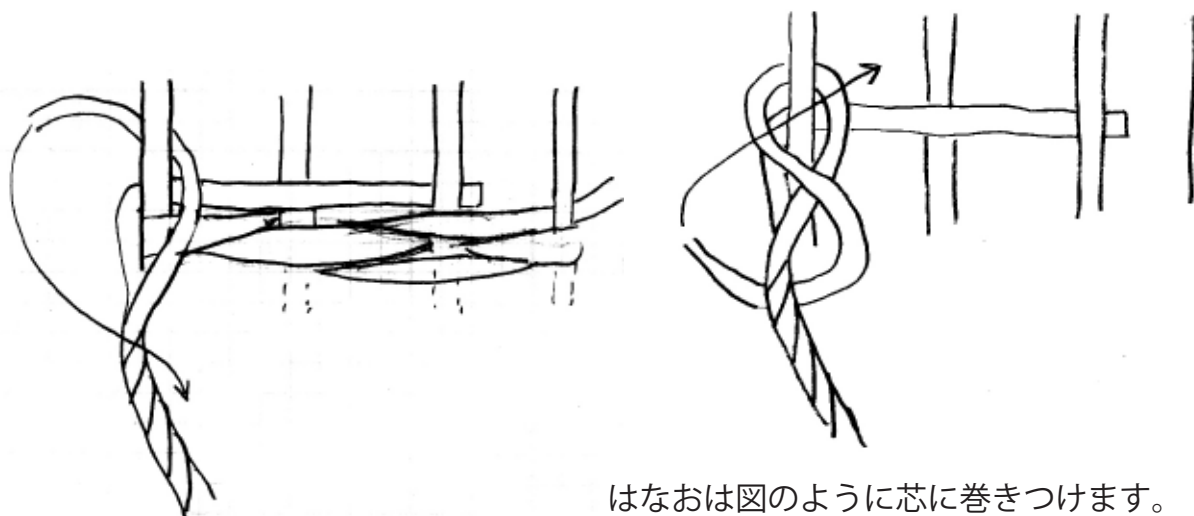
5. はなおをつける (1)

足のうらの長さの2/3ぐらいまであみこんだらはおえをつけます。

はお用のわらなわは、55cmぐらいの長さに作っておきます。

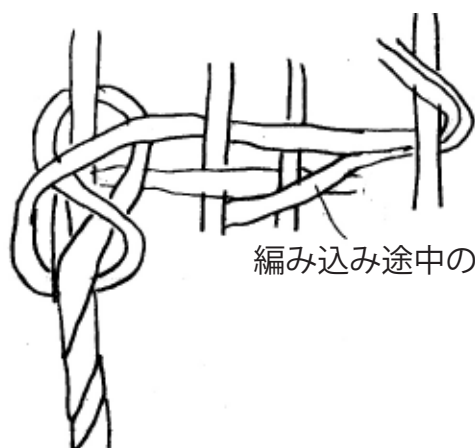
はお用のなわの端をわって芯にはさみこみます。

はなおの取り付け



はなおは図のように芯に巻きつけます。

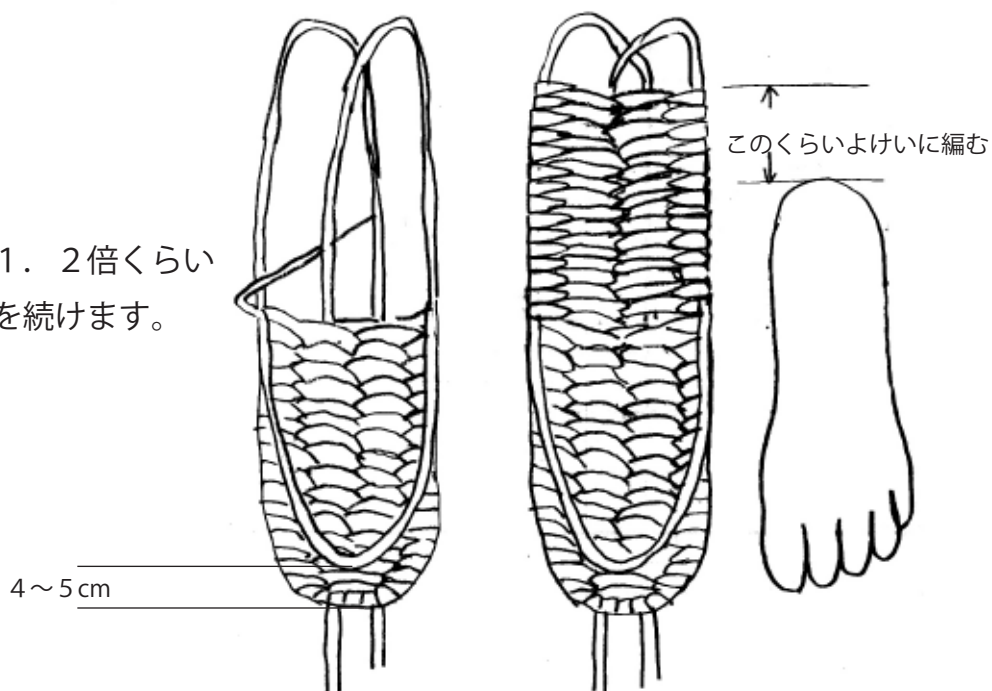
はなをは下の図のようにぞうりの先から
4～5 cm ぐらい手前でUの字になるように
曲げて取り付けます。



編み込み途中のわら

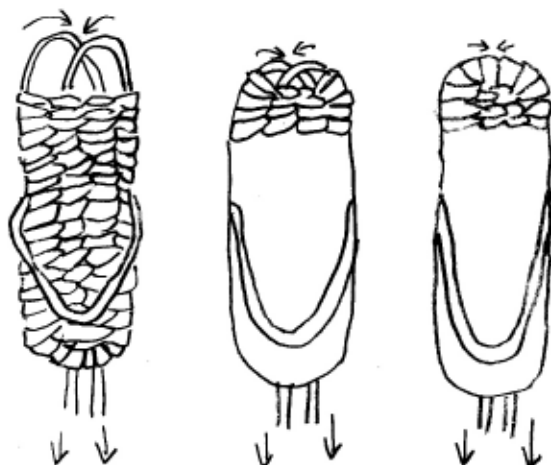
はなおのなわの両端を芯に巻きつけたら
わらを足して編み込みを続けます。

足のうらの長さの1.2倍くらい
よけいに編み込みを続けます。



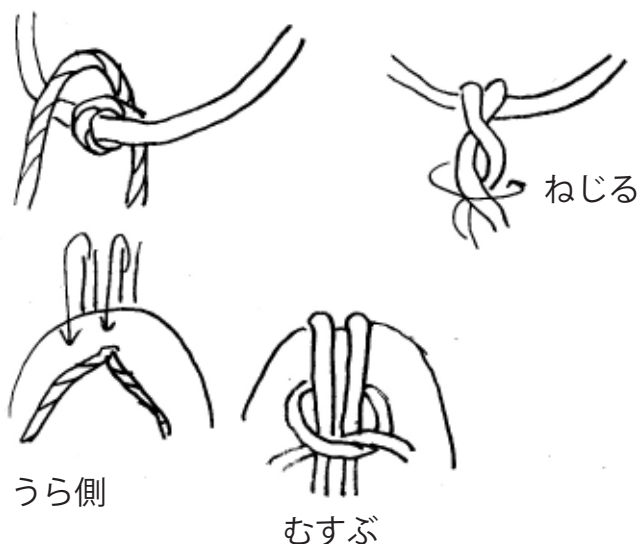
かかとを作る

編み込みが終わったら足からはずし、中の2本の芯が切れないように注意しながらひっぱります。

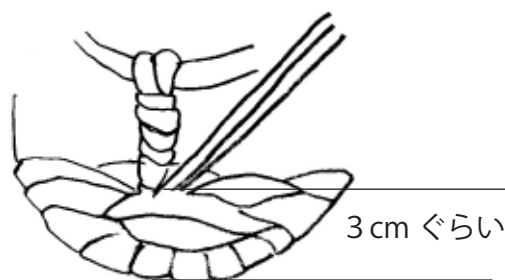


はなおの取り付け (2)

わらなわを10cm ぐらい用意し、図のようにはなおの中ほどに巻きつけます。



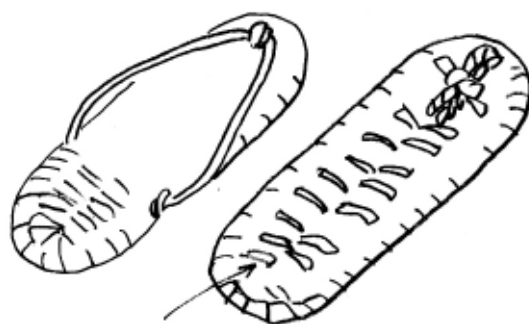
先のとがったもので穴をあけて通します。



6. 仕上げ

表、うらなど余分なわらが出ていたらハサミで切り取ります。

ただし、うらに出ている、つぎ足したわらの端はあまり短く切らずに残しておきます。



完成